

## I. Zoom や WebEx のリモート／オンライン会議や研修会へ参加する前に

### 1. 「リモートは Wi-Fi とパソコンが必要」は嘘

- **Wi-Fi 神話は捨てましょう。** LAN (ラン、有線) や 4G/LTE (通常のスマホ電話回線) のほうが、速くスムーズな場合が多々あります。その場、その時間で決めましょう。
  - ※園内や周囲の建物で Wi-Fi が使われていたら遅くなる。＝画像が凍る。
  - ※Wi-Fi ルーターから遠い場所、コンクリートに囲まれた部屋等は遅くなる。
  - ※Wi-Fi や 4G/LTE は、速度制限がかかっていたら遅くなる。
- **古いパソコンより、スマホやタブレットのほうが音も画像もきれいです。** 動画を見るための「脳」は、ビジネスパソコンの場合、とても質の低いものです。
- **4G/LTE を使ってスマホ等で研修を 2 時間受講した場合、使うのは 300 メガバイト程度** (講師が動画を使う、質疑応答が増える等で使用バイト数は増えます)。受講者側がカメラを切れば、使用バイト量はさらに減ります。
  - ※速度は、fast.com 等の「**回線速度 (検索)**」サイトで接続前に調べましょう。「ダウンロード」はデータが降りてくる速度 (見る／聞く時)、「アップロード」はデータを上げる速度 (自分が発言したりデータを共有したりする時) を示します。(必要な帯域は Zoom のサイトに書いてあります。短縮 URL <https://bit.ly/3fugJHb> をコピーしてご覧ください。リンクは発信元の都合で勝手になくなることがあります。)
- **Wi-Fi でも 4G/LTE でも LAN でも、回線速度サイトを使って園内で回線速度が速い場所を見つけ、そこで受信しましょう。**
  - ※画面が「凍る」ことには速度以外の要因も関わっていますので、完全に凍らないようにはできません。途中で接続が切れることもあります (ホストが落ちることもあります)。気にしないで接続しなおし、入り直してください。機器を再起動してみるのも一策。災害や交通事故で会議や研修会へ行けなくなる／遅刻することを考えたら、ほんの数分の損失なんて、気にする話じゃありません。落ち着いて！

### 2. ソフト／アプリが絶対必要！…ではない

- Zoom の場合、アプリをダウンロードしていなくても、直接リンク (長い URL) をクリックすれば、ほぼ入室できます。
- アプリをダウンロードしている場合、更新 (アップデート) の通知が来たら必ず更新しておきましょう。

- 会議や研修会に参加するためなら、以上です。ホストになるためには、アカウントを取得する必要があります（無料アカウントあり）。

### 3. 音声が届かなくなったら大変！

- 受講するだけなら、自機に必要なのはスピーカーと画面だけ。マイクが使えなくても、質問はチャットで送信可能。カメラがなくても大丈夫。
- 送られてきたリンクをクリックして入室、またはIDとパスコードを入れて入室したら、「コンピュータでオーディオに参加」をクリック ←★押すまで音声は聞こえません★




このアイコンが出ている時は、オーディオに接続していません

- 「コンピュータでオーディオに参加」をクリックしても音声が聞こえない場合、
  - ・ 自機のスピーカー音量がゼロになっていないか、確認。
  - ・ 外部スピーカーをつないでいる場合、マイクのマークの右にある山型マークから「オーディオ設定」を選び、正しいスピーカーが選ばれているか、確認。
  - ・ それでも聞こえない場合、退室または退室＋再起動して、入室し直す。
  - ・ それでも聞こえない場合は、他の機械で。
- カメラをつけて発言するのであれば、マイクとカメラのチェックも必須。  
タブレット、スマホの場合、「設定」から Zoom アプリに行き、マイクとカメラを「利用可」にする。  
※古いパソコンは、スピーカーやマイクのドライバが壊れていることも。
- 特に、自宅から受講する場合で代替機がないのであれば、当日以前の音声確認が必須。  
アプリをインストールしてあれば、こちらでテストできます（ページ下にアンドロイド、アップルの方法もあります）。

<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362283>

私は自分でホストをする研修会向けに、接続確認の場を毎月一度、設定しています。

## II. Zoom や WebEx 等のオンライン会議／研修会へ参加する

- 必ず、アプリをインストールした機器を複数用意しておきましょう。何が起こるかわからないのですから、バックアップの機器は必須。
- 私がホストをしている研修会の場合、受講者は入室時、「ミュート」 に設定して

あります。あなたの声や周囲の音が他の受講者に聞こえない状態です。何かを言う用がない限り、ミュートを切らないでください。



- ミュートを解除してハウリング（音が二重に聞こえる）が起きたら、至近距離で複数台、Zoom につないでいるためなので、物理的に離れてください。受信しているだけならば、ミュートにしていればハウリングや反響は（たいてい）起きません。
- パソコンの場合、カーソルを動かして画面下部に現れるメニューまたはメニューボタンから、「参加者」と「チャット」をクリック。画面右に参加者の名前とチャット画面が表示されます。  
 スマホやタブレットの場合、画面をタップすると「参加者」ボタンが見えます。また、「詳細」等から「チャット」を表示できます。
  - ・参加者画面で自機を選び、「名前を変更」できます。
  - ・チャットで全員、または特定の相手にメッセージや質問を送ることができます。  
 トラブル発生時にも必要です。チャット機能は必ず使えるようにしておきましょう。

#### おまけ：「Zoom（オンライン会議、セミナー）って危険？」

- いいえ。会議や研修会の都度ごとに ID とパスコードを発行していれば、知らない人はまず、入ってこられません（ID の使いまわしは避けたほうがよい）。
- 「Zoom 爆弾（妙な画像を参加者に見せる）」は、研修会等の場合、ホスト側で「参加者は画面共有をできない」設定にしておくことで防げます。妙なことを言う参加者がいても、ホストはその人をミュートにできますし、最悪の場合、部屋から強制退出させることができます。
- 個人情報が抜き取られることはありません（通常の SNS のほうがよほど個人情報を抜き取っています）。ホストが会議の ID を発行し、研修会や会議の主催者が参加者にその ID を送りますので、ホストや講師が全員のアドレスを知る必要はありません。